

実力編
よくでるポイント講座
人間の尊厳と自立

#5

第35回 問題2

Aさん（25歳，男性，障害支援区分3）は，網膜色素変性症（retinitis pigmentosa）で，移動と外出先での排泄時に介助が必要である。同行援護を利用しながら，自宅で母親と暮らしている。音楽が好きなAさんは合唱サークルに入会していて，月1回の練習に参加している。合唱コンクールが遠方で行われることになった。同行援護を担当する介護福祉職は，Aさんから，「コンクールに出演したいが，初めての場所に行くことが心配である」と相談を受けた。介護福祉職のAさんへの対応として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 合唱コンクールへの参加を諦めるように話す。
- 2 合唱サークルの仲間に移動の支援を依頼するように伝える。
- 3 一緒に交通経路や会場内の状況を確認する。
- 4 合唱コンクールに参加するかどうかは，母親に判断してもらうように促す。
- 5 日常生活自立支援事業の利用を勧める。

Answer

1

※問題は一部改編、情報更新等を施しております

3. 日常生活自立支援事業の対象と援助内容

援助の内容

福祉サービスの 利用援助

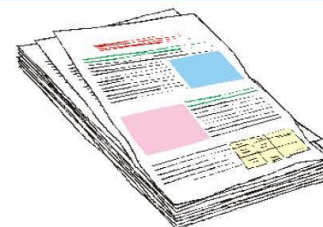
- ① 福祉サービスを利用し、または利用をやめるために必要な手続き
- ② 福祉サービスについての苦情解決制度を利用する手続き
- ③ 住宅改造、居住家屋の賃借、日常生活上の消費契約及び住民票の届出等の行政手続きに関する援助、その他福祉サービスの適切な利用のために必要な一連の援助
- ④ 福祉サービスの利用料を支払う手続き

日常的金銭管理 サービス

- ① 年金及び福祉手当の受領に必要な手続き
- ② 医療費を支払う手続き
- ③ 税金や社会保険料、公共料金を支払う手続き
- ④ 日用品等の代金を支払う手続き
- ⑤ ①～④の支払いに伴う預金の払い戻し、解約、預入の預け入れの手続き

書類等の預かり サービス

- (保管できる書類等)
- ① 年金証書
 - ② 預貯金の通帳
 - ③ 権利証
 - ④ 契約書類
 - ⑤ 保険証書
 - ⑥ 実印・銀行印
 - ⑦ その他、実施主体が適当と認めた書類(カードを含む)



定期的な訪問による生活変化の察知
〈見守り〉



具体的には、利用者との契約に基づいて、福祉サービス申請の助言や同行、サービスの利用料の支払い、公共料金の支払い等の日常的金銭管理等を実施。
(1ヶ月の平均利用回数は約2回、利用料の平均1回1,200円)

資料…日常生活自立支援事業の概要と支援の現状、厚生労働省

合格勉強法

国家試験はマークシート方式

||

書けなくてよい
スラスラ言えればOK

⇒試験当日書いて思い出す時間はない

⇒リハーサルは音で繰り返し行う